

災害なんかに負けない地域をつくろう！

北区辻学区

震災避難行動マップ

この震災避難行動マップは、名古屋市が公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」をもとに、大規模地震が発生した場合を想定して、辻学区のみなさんが、お住まいの地域の危険箇所などについて話し合い、作成したものです。

この震災避難行動マップをもとに、「いざ」という時どんな行動をとればよいか日頃から考えておきましょう。

パソコンやスマートフォンでも防災マップを見ることができます。
<http://www.platform.or.jp/map/sp/4/164/>



③ 守山水処理センター

② 辻コミュニティセンター

① 辻小学校

ユニー株式会社 アピタ名古屋北店
一時避難場所の提供 (立体駐車場東側)

名古屋トヨペット株式会社 辻町店
救助資機材の貸与

中日新聞印刷株式会社 辻町工場
一時避難場所の提供
自家発電余剰電力の提供

宗教法人真宗大谷派 有隣寺
一時避難場所、一時応急救護所の提供

名北建設株式会社
支援助資機材の提供

斎田株式会社
支援助資機材の提供

サガミシード株式会社 セルフ名古屋
救助資機材の提供

昭和礦油株式会社 名古屋支店
一時避難場所、一時救護場所の提供
資機材の貸与

自治会・町内会の一時集合場所
自分の自治会・町内会の集合場所を記入しておきましょう

● 凡例

集	一時集合場所	大きな災害がおこった時、地域での安否確認や情報収集、初期消火・救助活動などの指揮場所です。
🏠	指定緊急避難場所 (洪水・内水氾濫)	指定緊急避難場所 (地震の揺れ)
🏠	指定避難所	地域防災協力事業所
☎	公衆電話	下水道直結式仮設トイレマンホール
🔑	地下式給水栓	AED (自動体外式除細動器)
🚰	応急給水施設	公衆トイレ
---	学区境	町内会境

知っておこう道路閉塞率について
 南海トラフ巨大地震の名古屋市の被害想定(あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震)をもとに、地震の揺れによって建物が倒壊し、道路がふさがって通れなくなる可能性を評価したもの。
 ※液化化を考慮して計算された建物の全壊率から、沿道の各建物高さ道路の幅員(歩いて避難する場合には、最低2mの道路幅が必要と設定)を考慮して、道路が閉塞する確率を算出。 出典：震災に強いまちづくり方針

40~70%のエリア

この想定はあくまで一定のデータ・条件をもとに統計的に算出されたものであり、想定にとらわれすぎないように注意しましょう。

指定緊急避難場所・指定避難所

指定緊急避難場所…命を守るため、災害の危機からまずは逃げるための場所
 指定避難所…自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間、避難生活をおくるためのところ

施設名所	所在地	指定緊急避難場所			指定避難所
		洪水・内水氾濫	地震の揺れ	大規模な火事	
① 辻小学校	辻町1-32-4	2階以上	グラウンド	×	○
② 辻コミュニティセンター	辻町9-62-1	2階以上	×	×	○
③ 守山水処理センター	米が瀬町3-1	3階以上	×	×	○

※大規模な火事が発生した場合は、広域避難場所に避難しましょう。

普段からの備え

災害に備えて日頃から備蓄をしておきましょう

【備蓄品の例】災害に備えて用意しておきたいもの

7日分の備蓄の内3日分は非常持出品にしましょう

命をつなぐために用意しておきたいもの

- 保存がきく食品 (自分が食べやすいもの)
- 常備薬 (持病の薬を含む)
- 飲料水 (ペットボトル)
1人1日3リットルが目安です。また、水分の多い食品(ゼリーなど)と組み合わせることで量を減らすことができます。

生活用品

- 携帯トイレ
- ゴミ袋
- 新聞紙
- ティッシュ
- 手動式電話充電器

医療用品

- 三角きん
- 包帯・ガーゼ
- 消毒液
- ウェットティッシュ

照明等

- 懐中電灯 (電池含む)
- マッチ・ライター

寝具等

- 毛布
- 寝袋

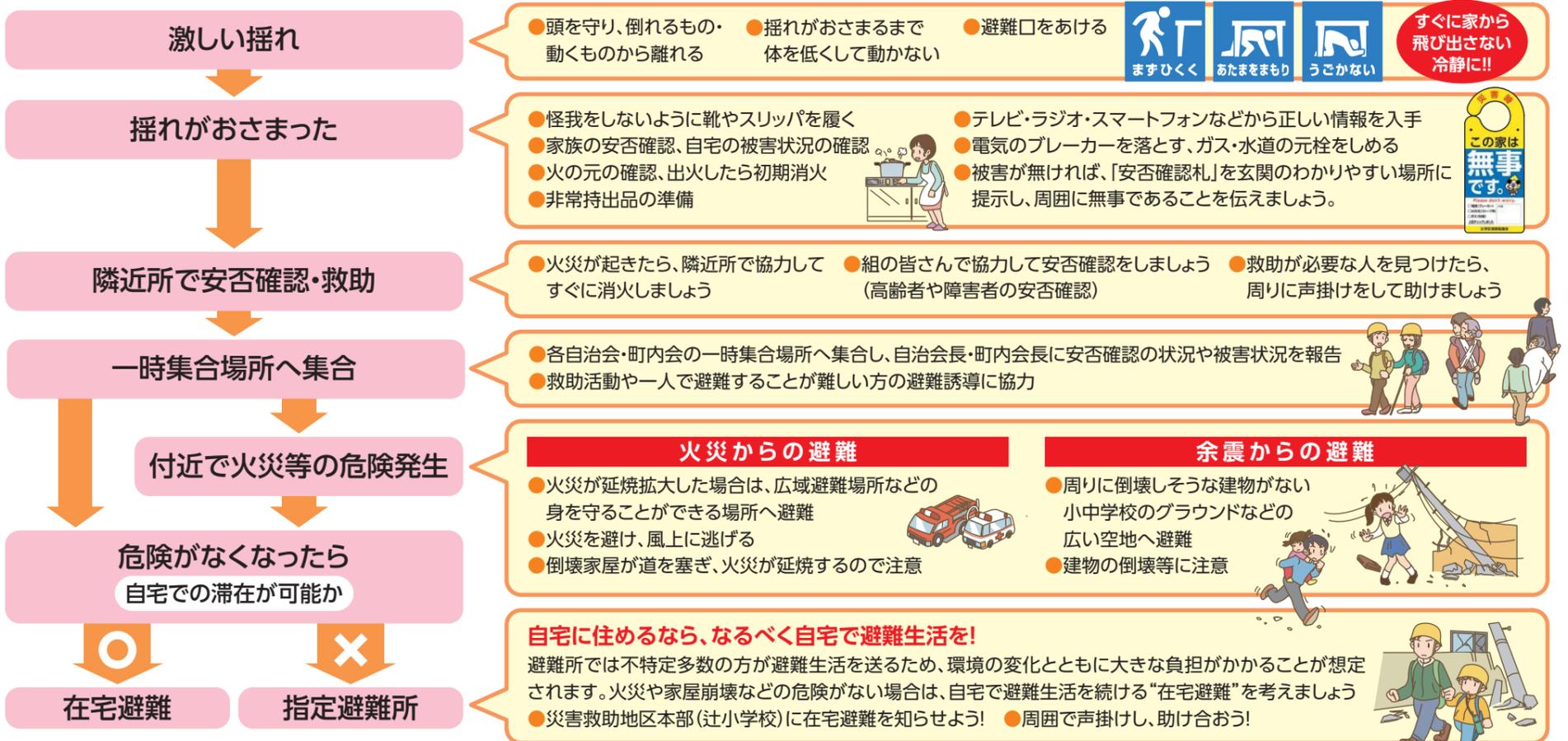
防災用品

- 携帯ラジオ
- ヘルメット・防災ずきん
- 軍手
- マスク

家族や自治会・町内会で話し合うなど日頃から防災・減災意識を高め、いざという時に備えましょう。

- **建物を耐震化する。**
・昭和56年5月以前に着工した住宅には助成制度があります。
- **感震ブレーカーを設置する。**
・震災後の電気火災を予防するため、感震ブレーカーを設置しましょう。(名古屋市の助成制度があります。)
- **家具を固定する。(転倒防止対策)**
・家具に押しつぶされたり、避難の妨げとならないよう家具等を固定しましょう。
- **非常持出品・備蓄品を準備しましょう。**
・水や食糧、携帯用トイレ等の備蓄品を1週間分、そのうち3日分は非常持出品として持ち運びができるようにしましょう。
- **安否確認方法を決めておく。**
・災害用伝言ダイヤル「171」や災害用伝言板サービスを確認しておきましょう。
(毎月1日・15日、正月三が日、防災週間などに体験できます。)
- **指定緊急避難場所、指定避難所、自治会・町内会の一時集合場所等を確認する。**
・避難場所等を確認しておきましょう。また、避難するルートも確認しましょう。

地震発生! 辻学区災害時の対応ルール



一人では逃げられない方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、下記のような高齢者や障害のある方などの避難行動を早めました。
日ごろから地域でお互いに顔の見える関係を構築し、地域みんなでいち早く避難行動がとれるよう協力しましょう。

情報の入手や判断が難しい方

例えばこんな方

目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障害のある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など

対応方法



移動が難しい方

例えばこんな方

普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど

対応方法

